

在宅での取り組み「傷の縫合」

在宅診療を受けている患者さんの中には、ご自宅での転倒や思わぬケガにより、皮膚が深く切れたり裂けたりしてしまうケースがあります。このような場合、「病院で縫ってもらわなければいけない」と思われがちですが、当院ではご自宅や施設での縫合処置にも対応しております。

処置の際は、局所麻酔薬を使用し、できるだけ痛みを感じにくいように配慮しながら、丁寧に縫合を行います。また、傷口からの感染を防ぐことも大切ですので、消毒や衛生管理を徹底したうえで、必要に応じて抗菌薬の処方も行っております。

処置が終わった後も、経過観察や抜糸などのフォローを含め、すべて訪問にて対応いたしますので、安心してお任せください。

無理に救急車を呼んだり、慣れない病院へ通ったりせずとも、住み慣れたご自宅で、いつも通りの生活を続けられるよう、私たちがそばでサポートいたします。

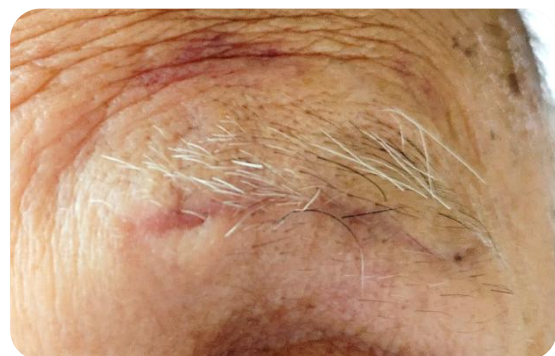
なお、今回掲載の写真は、患者さんにご家族のご厚意により掲載させていただいております。温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。



▲【受傷当日】転倒でまぶたに深い傷を負われた患者さんに、当院の院長がご自宅を訪問し、縫合処置を行いました。



▲【1週間後】ご自宅で抜糸を行い、皮膚の癒合が不十分な部分はテープで固定を行いました。



▲【3週間後】皮膚が癒合し、傷口もふさがったため、テープを外しました。